

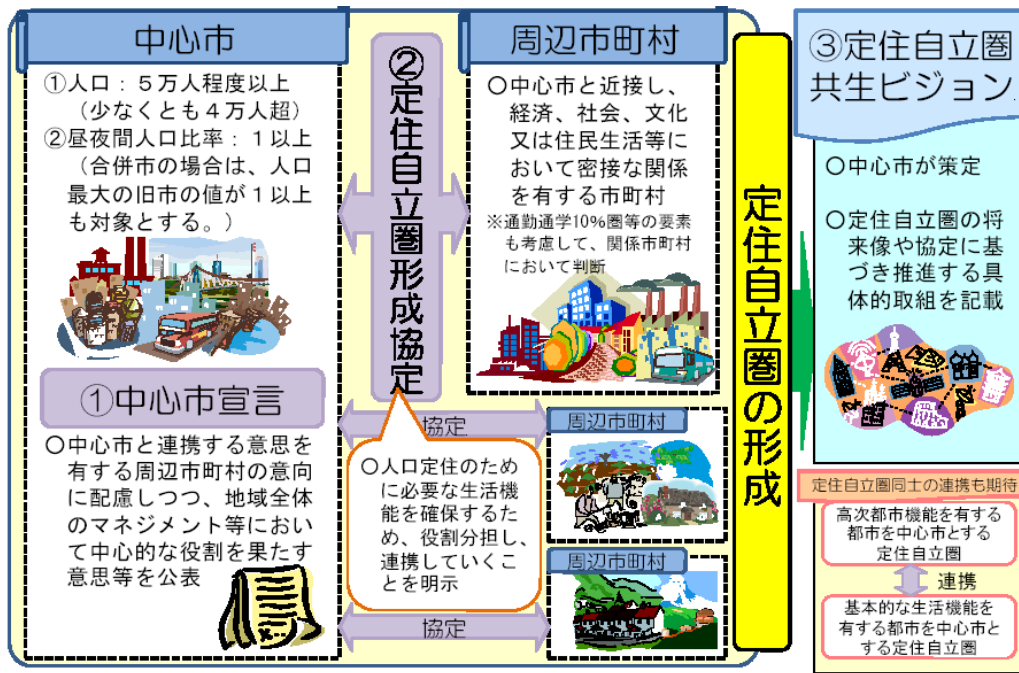
# 東備西播定住自立圏の取組について

「自然と歴史につつまれた、笑顔あふれる文化交流都市圏」を目指して

## I 定住自立圏構想とは

定住自立圏構想は、地方における人口減少、少子高齢化の急速な進行等を背景に、全国的な見地から地方圏での人口定住を促進していこうとする新しい広域的市町村連携の仕組みです。

近隣の市町村がそれぞれの魅力を活用して相互に役割分担し、連携・協力することにより圏域全体として「定住」のために必要な生活機能を確保し、「自立」のための経済基盤や地域の誇りを培い、安心して暮らせる地域（圏域）を形成します。そうすることにより地方圏からの人口流出を食い止め、都市圏から地方圏への人の流れを創出し、全体として魅力あふれる地域（圏域）を形成することができます。



## II 東備西播定住自立圏の形成

赤穂市・備前市・上郡町の3市町は、県境だけでなく中国・近畿地方を挟んだ地域ではありますが、構成市町の地理的、歴史的な繋がりは深く、古くから一体的な生活圏を形成してきました。また、行政的な面からも連携を深めてきました。

このような背景のもと、3市町は、新たに「東備西播定住自立圏」を形成し、連携・協力を密にしなが、個々の地域がより個性を発揮できる魅力と活力に満ちた圏域づくりを進めていきます。

## III 目指すべき圏域の将来像

本圏域では、人と自然にやさしく、自信と誇りを持ち、活力に充ちた「自然と歴史につつまれた、笑顔あふれる文化交流都市圏」を目指していきます。

### 都市機能

圏域住民の生活機能を確保し、地域の魅力を向上させていく基盤となるべき都市機能については、赤穂市と備前市が連携し、中心的都市機能の役割分担を図るとともに、それぞれの機能強化を図りながら圏域全体の住民が等しく利用できるように努めていきます。

### 自然

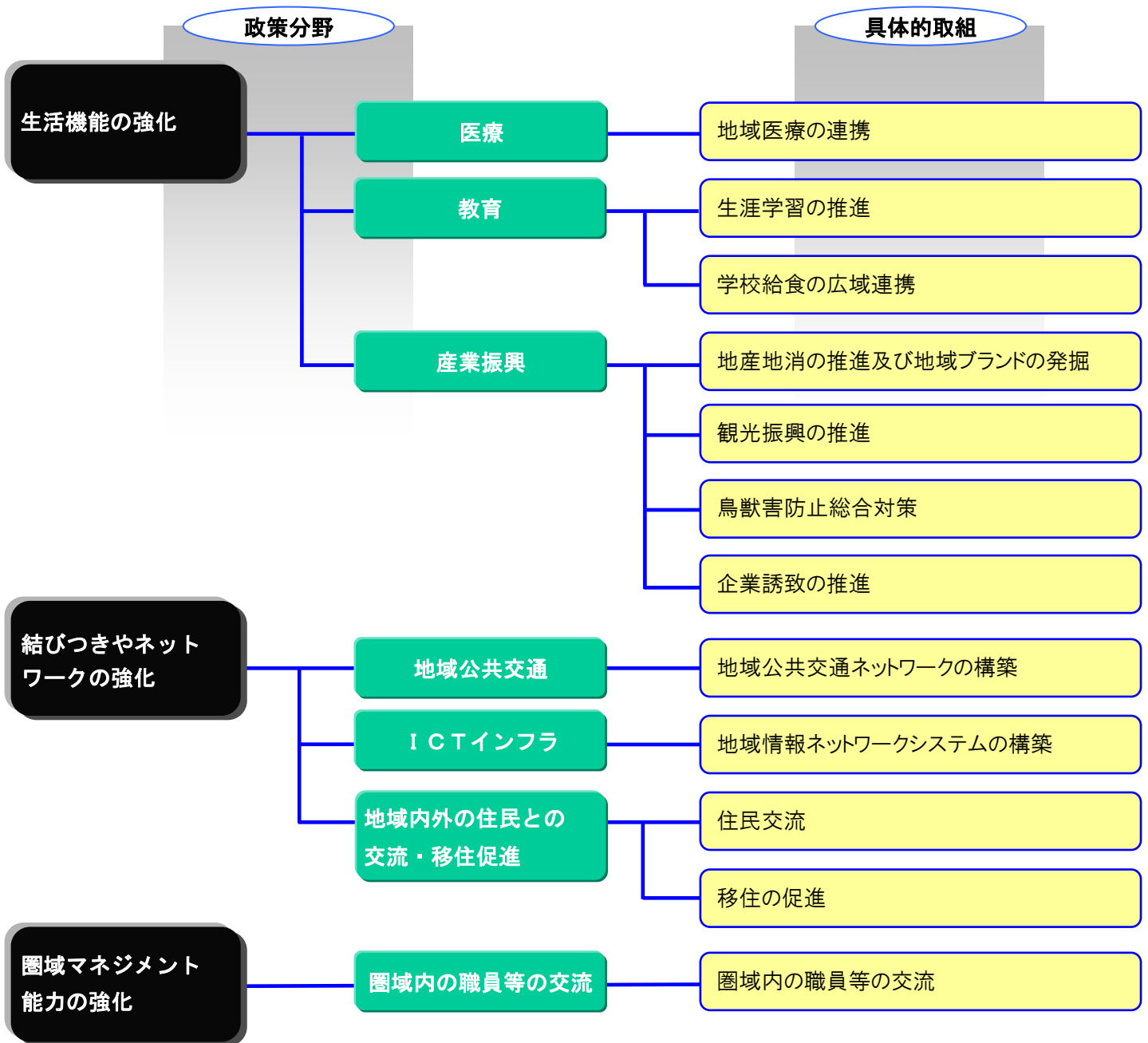
瀬戸内海国立公園や緑豊かな山々、清流のせせらぎなど豊富な自然を活かした安らぎと癒しの空間を圏域内外の人と分かち合えるよう、赤穂市、備前市、上郡町がそれぞれの地域特性を活かした施策を連携・協力して展開していきます。

### 歴史・文化

歴史資産の保存、活用、伝承に加え、文化的交流を推進し、圏域住民がそこに住むことに対する誇りを醸成していきます。

## IV 将来像の実現に向けた具体的取組

将来像の実現に向け、「生活機能の強化」、「結びつきやネットワークの強化」、「圏域マネジメント能力の強化」という観点から、次図に示す体系に基づき、具体的な取組を行っていきます。



### 1

### 生活機能の強化のために

#### 医療

●良い医療がやさしく安全に、効率的に提供される圏域を目指します。

- ・医療連携研究会事業、医療情報研究会事業

医師をはじめ医療技術職員の情報交換や医療技術の向上を目指した研修を実施し、病院間の患者紹介をより円滑に行います。

## 教育

- 文化・スポーツ活動への参加の機会や住民間の交流の機会を拡充し、健康でいきいきと暮らせる圏域を目指します。

- ・文化施設収蔵資料公開交流事業
- ・伝統芸能郷土芸能大会開催事業
- ・チャレンジデー開催事業
- ・図書館相互利用推進事業
- ・赤穂市文化会館整備事業 外



圏域において様々な文化、スポーツ事業を実施するとともに、関係市町施設の利用や事業参加の制約を取り除きます。

## 産業振興

- 地産地消を推進するとともに、圏域ブランド商品を発掘・開発し、圏域経済の活性化とブランド力の強化を目指します。

- ・地域ブランド発掘事業

地域ブランド発掘のための事業を行うとともに、各地でのイベントに出店して、情報を発信します。



- 恵まれた観光資源を有効に活用して圏域の魅力在全国に発信し、交流人口の拡大と販わいの創出を目指します。

- ・観光振興推進事業

魅力的な観光ルートを設定し、広域的な観光ガイドブックを作成するとともに、観光キャンペーン等での情報発信や誘客活動を共同で行います。



- 農作物等への鳥獣被害の減少を目指します。

- ・有害鳥獣対策事業

市町界の境界付近での有害鳥獣の共同捕獲活動を実験的に行います。



- 企業誘致を推進し、圏域経済の活性化と雇用の場の確保を目指します。

- ・企業誘致促進事業

大阪など都市部で開催される大規模な企業誘致説明会や展示会に出展、参加し、情報発信や企業誘致活動を行います。



## 2

## 結びつきやネットワークの強化のために

## 地域公共交通

- 移動手段の確保により、住民の生活エリアの拡大と交流人口の拡大を目指します。

- ・圏域運行バス調査検証事業

圏域内市町間を結ぶ圏域運行バスの導入に向けて調査・検証を行います。

- ・JR利便性向上事業

JR山陽本線、赤穂線を利用する住民や圏域を訪れる人たちの移動手段と利便性の向上を図るため、JR西日本等関係機関への働きかけを行います。



## ICTインフラ

- 双方向による情報の発信により、圏域内の結びつきの強化を目指します。

#### ・地域情報活性化事業

地域情報の交流と活性化を図るため、ICT 技術を活用した地域 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を構築し、運営します。

#### ・圏域ホームページ作成事業

東備西播定住自立圏形成推進協議会のホームページを作成し、広く情報を発信します。



## 地域内外の住民との交流・移住促進

- 賑わいの創出と相互理解を深め、圏域外住民との交流、圏域の魅力の発信により定住人口の確保を目指します。

#### ・定住自立圏フォーラム開催事業

定住自立圏の制度や取組み内容について、住民の方々に幅広く周知するとともに、圏域外へも情報発信するため、フォーラムを開催します。

#### ・民間イベント等助成事業

民間事業者等が行うイベントなどで、圏域内外の住民交流の促進と賑わいの創出、相互理解を深めるために実施するものに対して助成を行います。

- 圏域内外の人々がお互いを理解し、圏域の魅力を発信することにより、転入人口、多様な人材の確保を目指します。

#### ・定住相談会開催等事業

神戸市など都市部で開催される定住相談会に出展、参加し、移住希望者の定住先として本圏域を選択してもらえるよう定住支援策などの情報発信を行います。



## 3

### 圏域マネジメント能力の強化のために

## 圏域内の職員等の交流

- 市町職員等の資質を向上し、圏域マネジメント能力を高めることにより、圏域を牽引する人材育成を目指します。

#### ・職員研修事業 外

圏域自治体職員の育成を図るための各種研修を実施し、能力と資質の向上を図ります。

## V おわりに

東備西播定住自立圏の取組に関する詳しい内容は、協議会のホームページや各市町に設置している「東備西播定住自立圏共生ビジョン」でご覧いただけます。また、ご意見・ご質問などがございましたら、下記の問合せ先までご連絡ください。

### 問合せ先

東備西播定住自立圏形成推進協議会〔赤穂市・備前市・上郡町〕

(事務局：赤穂市企画振興部企画課)

〒678-0292 兵庫県赤穂市加里屋81番地 電話：0791-43-6867 FAX：0791-43-6892

ホームページ URL：<http://www.city.ako.hyogo.jp/toubiseiban/index.html>

E-mail：[kikaku@city.ako.lg.jp](mailto:kikaku@city.ako.lg.jp)